

# ⑥ 第50期通常総代会 議案書(一次案)



 コープおきなわ



未来へつなぐ笑顔と協同の50年



\*この資料は3月18日理事会で確認した内容です。

今後新しい情報にもとづいて修正しますので、  
6月総代会議案書は内容が変わることがあります。

2025年5月

 コープおきなわ

# 資料のご説明

この資料は、6月19日の第50期通常総代会で、総代の皆さんに議決していただく議案を要約してご紹介したものです。

今回の議案は4つです。すべて定款によって総代会で議決することが定められたものです。

## ■ 今回の議案は4つです。

どれも総代会でしか決めることができない内容となっています。

議案	決めていただく内容	備考
第1号議案	2024年度活動報告・決算報告及び剰余金処分案を決めます	毎年提案
第2号議案	2025年度活動方針・事業計画及び予算を決めます	毎年提案
第3号議案	2025年度役員報酬の限度額(上限額)を決めます	毎年提案
第4号議案	うるま市ブロックの地方区分理事の選任について決めます。	-

## もくじ

### ■ 第1号議案 2024年度活動報告・決算報告及び剰余金処分案決定の件

【1】2024年度のふりかえり	P1~3
【2】2024年度事業・活動報告	P4~8
【3】2024年度決算報告と剰余金処分案	P9~10

### ■ 第2号議案 2025年度活動方針・事業計画及び予算決定の件

【1】2025年度方針基調	P11~12
【2】2025年度活動方針(事業・活動)	P13~15
【3】2025年度予算	P16~17

### ■ 第3号議案 2025年度役員報酬限度額決定の件

P18

### ■ 第4号議案 役員選任の件

P19

### ■ 語句説明

P20~24

### ■ 沖縄南部市民生活協同組合設立趣意書

P25

# 第1号議案 2024年度活動報告・決算報告 及び剰余金処分案承認の件

## 【1】2024年度「各分野の主な課題」のふりかえり(基調)

\*2月決算時見込み

	2024年度実績	予算比	2023年度対比
供給高	213.3億円	97.9%	99.5%
経常剰余金	1.7億円	87.2%	42.1%

### [24年度まとめ(要約)]

減収減益<sup>\*1</sup>となりました。供給高<sup>\*2</sup>は予算・前年とも届きませんでした。店舗事業は、予算・前年ともほぼ達成していますが、協同購入事業は事業の継続性を高めるために実施したコースメンテナンス(配達コースの見直し・再編成)の影響により利用者数が減少したことに加え、物価上昇による買い控えなどの影響もあり、予算比96.4%と大きく下回りました。また、くらしのサポート事業は、供給高の多くを占めるハウジング事業が建築資材の高騰や競争激化に十分対応できず、受注が減少したことで、予算比80.5%(ハウジング事業単体は62.3%)と大きく下回りました。事業経費は、人件費予算を職員の処遇改善などで昨年度比106.4%、物件費予算も施設・設備の改修などの為、前年比103.2%と大きく増加させましたが、様々な業務改善の取り組みにより予算内での執行となりました。

経常剰余金<sup>\*3</sup>は1.7億円(予算比87.2%)となりました。協同購入事業とくらしのサポート事業の供給高未達が影響し、予算を大きく下回る結果となりました。

### [24年度・方針の柱ごとの振り返り]

#### 1. 未来づくりのスタートにあたり、生協の3つの原則(出資・利用・運営)の取り組みを強化します。

協同購入事業では、出資金通知書の配布週にあわせ、出資配当のお知らせと増資への協力をお願いしました。出資金の原則運用<sup>\*4</sup>にもなって、減資が年1回となったことで、安定しています。

利用の側面では、コープ商品や産直商品、コープ共済の学習と普及に取り組みました。中でも、産直商品については、不必要な抗生物質・合成抗菌剤を与えない「特別飼育鶏やんばる若どり」が、2024年9月2週より供給をスタートし、2025年2月には、新たな産直商品である「八重瀬町カラベジ」の農産物の供給がはじまっています。また、各地域のブロック協議会<sup>\*5</sup>を中心としたくらしづくり活動などの場づくりもすすみ、多様で多彩な企画が取り組まれ、運営参加が広がっています。(68企画、1713名の参加 2025年3月末現在)

#### 2. 誰でも安心して、働き続けられる職場づくりをすすめます。

(1) パーパス<sup>\*6</sup>にそった具体的な実践や成功事例を共有し、できている人に学ぶ風土づくりをすすめてきました。実践事例集の動画配信や職員表彰制度を積極的に運用するなど、人財育成や組織風土づくりがすすんでいます。(チャレンジ!パーパス表彰件数は99件。(うち、個人表彰79件/部門表彰20件))

(2) 新規学卒者への各種説明会やインターンシップの他、Webサイトを活用したキャリア採用<sup>\*7</sup>、ハローワーク主催の55歳以上の求職者への説明会参加など、多様な年齢層への採用活動に取り組みました。また若手職員の定着率向上とキャリア形成を図るため、入協1年目職員へのメンター制度<sup>\*8</sup>や

■右上に注釈\*がついている語句  
……P20~語句説明を記載しています

入協2年目職員を対象とした組織内インターンシップの継続、あわせて登用制度<sup>※9</sup>へ挑戦できる条件をこれまでの勤続3年以上から勤続2年以上へとする見直しをすすめました。

- (3) 女性幹部職員と常勤理事による役員メンター制度<sup>※10</sup>に取り組みました。互いの経験値と視点、今の時代に求められているマネジメントについて気づきや学びが生まれる機会となっています。また、約50名のフルタイム女性職員を対象とした交流会を3回開催し、女性職員のネットワークと、今後のキャリアを考える場が広がっています。

### 3. 日本の生協の2030年目標に向けた実践

#### (1) 【つながる力で未来をつくる・COOP2030】<sup>※11</sup>

- コープおきなわは、ボランティアセンター運営委員会の委員の役割を担っています。小売業では、コープのみで、全国的にも「生協枠」があり、これまでの地域貢献が評価されています。ボランティアセンター運営委員会の役割は、災害時に素早く、必要な対応にあたることです。この委員会から「北部豪雨災害」の情報がいち早く届き、平南ファーム(産直やんばる若どりの生産者)への支援や募金活動につながりました。
- 今年で3年目となる「地域活動支援制度」<sup>※12</sup>を実施しました。地域の人々の暮らしに役立つ取り組みや、社会的課題の解決に向けた企画を支援することを目的とした制度です。今年は14団体に支援を行い、3年間で合計40団体へ支援を行いました。子ども達が店長となる「こどもフリーマーケット」や、子ども達がクッキングしながら食育を学ぶ「夏の食育あそび」などの企画が開催されました。

#### (2) 【2030環境・サステナビリティ政策(コープおきなわ版)】<sup>※13</sup>

- 「おきなわアジェンダ21 県民環境フェア in 北中城」<sup>※14</sup>、「浦添市地球温暖化防止展」にてエシカル消費のパネルを展示しました。
- 環境推進委員会の主催による「プラスチックについて考えてみよう」を開催しました。プラスチックってなんだろう、プラスチックの影響、SDGsとの関係など、子ども達にもわかりやすくクイズを行いながらの学習の場となりました。
- おきなわコープエナジーでは、太陽光発電を所有している企業との連携や、組合員を中心とした卒FIT契約<sup>※15</sup>がすすみ、再生可能エネルギーの取扱量は発電容量4,441.3kWと大きく前進しました。このペースですすと、2025年には目標に到達する見込みです。
- 店舗では、製造計画をしっかりとたてることや「循環型野菜への活用(あらぐさ)」などをすすめ、食品ロス量を34%削減(前年比)しています。前日の状況を写真で記録し、廃棄ロスがわかるような掲示し、改善につなげたり、「てまえどり」への協力をお願いしたりするなどの取り組みもすすめています。

### 4. コープおきなわのSDGs 3つの優先課題

#### (1) 「エシカル消費」<sup>※16</sup>をすすめます (SDGs11)

- 協同購入では、週当たり180アイテムの品揃え目標に対し、208アイテム、店舗では234アイテムの品揃え目標に対し、625アイテムと両事業で目標を超過しています。

#### (2) 誰もが安心して暮らし続けられる街づくり (SDGs12)

- 感覚過敏の方にも安心してお買い物をしていただけるよう、「クワイエットアワー」<sup>※17</sup>に取り組みました。コープ牧港で定期的(第3木曜日9時から10時)に実施し、好評を得ています。



■右上に注釈<sup>※</sup>がついている語句  
……P20~語句説明を記載しています

○「コープ買物BUS」<sup>※18</sup>が喜ばれています。ご高齢の方や普段のお買い物にお困りの方を、最寄りのコープ店舗まで無料で送迎するサービスです。お買い物にとどまらず、地域に知り合いができ、ゆるやかな見守りにもつながっています。ご要望にお応えし、2月には2号車(コープこくば、コープおろくエリア)を配置することができました。

(3) 二度と家族を戦場に送ることのない平和な暮らしを子どもたちに引き継ぐために(SDGs16)

○「6.23ファミリーピースウォーク」には195名(大人170名、子ども25名)、県外生協からは、65名と多くの参加がありました。沖縄戦と平和について家族で考える機会となりました。

○1月18日(土)・19(日)に、平和の尊さについて考える「被爆ピアノコンサート」が開催されました。

コープおきなわ初の取り組みでした。演奏者・伴奏者含めて子どもから大人、男性、女性、演奏のスタイル・曲目、合唱など多彩な音色、歌声が会場を包み込みました。「被爆の実相を知り、平和への願いを発信することができたコンサート」となりました。



5. 供給高<sup>※2</sup>を増やしながらか、経費率<sup>※19</sup>の適正化をすすめ、持続可能な経営構造に改革します

※各事業本部のまとめをご参照下さい。

■右上に注釈<sup>※</sup>がついている語句  
……P20~語句説明を記載しています

## 【2】2024年度 事業・活動報告

### 協同購入事業

※数値は2月決算時見込み

	2024年度実績	予算比	2023年度対比
供給高	107.8億円	96.5%	100.2%

#### ■2024年度まとめ(要約)

1. 新たに「特別飼育鶏やんばる若どり」「八重瀬町カラベジ(農産)」が産直商品に加わりました。
2. 商品セットセンター冷蔵ラインの改修工事を行いました。
3. ミックスお届け※<sup>20</sup>コースメンテナンスを実施しました。
4. フードドライブ(スマイルピックアップ)※<sup>21</sup>を実施しました。

#### ■具体的な取り組み

##### 1. 「特別飼育鶏やんばる若どり」「八重瀬町カラベジ」が産直に加わりました。

- (1) 不必要な抗生物質・抗菌剤を投与しない「特別飼育鶏やんばる若どり」が産直商品として加わりました。消費者の立場だけを一方的に追及するのではなく、消費者と生産者がお互いの立場を理解し、共に協力し合い成長していく関係を大切にします。
- (2) 新たな産直産地「八重瀬町カラベジ」のレタス、カーリーケール、ミニパプリカ、ミニトマトが加わりました。地域循環農業を基本とした考え方や消費者との繋がりを重視する考え方など、生協が非常に共感できる部分が多く、産直認定に至りました。



##### 2. 商品セットセンター冷蔵集品ラインの改修工事を行いました。

老朽化の対応と利用を広げることを目的に、設置から37年経過している冷蔵集品ラインの改修工事を行いました。他生協より譲り受けたライン部材(10年ほど経過していますが、今までよりも型式は新しい)を使用することができ、設置費用などのコストを抑えることができました。今までより多くの品目を集品できる準備が整いました。



##### 3. ミックスお届け※<sup>20</sup>コースメンテナンスを実施しました。

これまで「グループ利用」「個別利用」の利用スタイルによって、別々の地域担当がお届けする分業制をとっていましたが、地域でお届けエリアをまとめる大規模なコースメンテナンスを行いました。

#### 【目的】

- ① エリアをまとめ、組合員さんのくらしの変化に合わせた利用スタイルの提案ができるようにする。
- ② 生産性を高め、配達効率を改善し、体制の安定化を図る。
- ③ トラック台数の適正化により使用燃料を削減し、環境負荷の低減を目指す。

組合員さんには、曜日や時間の変更でご迷惑をおかけする場面もありましたが、長年の課題であったコースメンテナンスを実施することで、事業の継続性を高め、組合員さんにとってより利用しやすい協同購入を目指す第一歩となりました。

##### 4. フードドライブ(スマイルピックアップ)※<sup>21</sup>を実施しました。

24年度も9月、1月にフードドライブ(スマイルピックアップ)を実施しました。今回で4回目の開催となり、多くの組合員さんのご協力で多くの商品が集まりました。各センターから地域の社会福祉協議会を通して必要とされる団体やご家庭に届けられました。



■右上に注釈※がついている語句  
……P20～語句説明を記載しています

# 店舗事業

※数値は2月決算時見込み

	2024年度実績	予算比	2023年度対比
供給高	97.4億円	101.5%	99.6%

## ■2024年度まとめ(要約)

1. コープ首里が30周年を迎えました。5月には誕生祭を開催し、店内が組合員で賑わいました。
2. 全店でフードドライブ※22を実施し、約2,000点の商品が必要な方に届けられました。
3. 店頭で使用済み油の回収が始まりました。
4. 年間147件の成功事例が報告され、利用しやすいお店やお仕事の改善に繋がっています。
5. 理念・方針に基づいた考動が増え、539件(3月末時点)の職員表彰が行われました。

## ■具体的な取り組み

### 1. コープ首里30周年を迎えました。

1994年に開店した1号店のコープ首里が30周年を迎え、5月には誕生祭を開催し、開店当時の写真展やご尽力頂いた組合員さん、当時を知る職員からのインタビュー動画などを放映しました。開発商品のおすすめ活動、お買い得商品を準備し賑わいました。2025年度はコープこくばとコープ美里が30周年を迎えます。



### 2. 全店でフードドライブ※22を実施しました。

各店舗では、協同購入と連携して2024年9月と2025年1月にフードドライブを実施しました。地域組合員の皆様から善意ある商品をご寄付頂き、併せて約2,000点の商品が各社会福祉協議会を通して必要とされる団体やご家庭に届けられました。



### 3. 使用済み油の回収がスタートしました。

コープ美里での実験(約1カ月間)にて、店内での安全性(滑り、転倒)などを確認し、2025年3月から可能な店舗への導入を進めています。回収した使用済み油は、バイオマス燃料や、アスファルト製造時に使用される重油の代替品としてリサイクルされる予定です。

※回収BOXの配置場所などの関係で一部配置ができない店舗もあります。



### 4. 年間147件の成功事例が報告されました。

店舗事業では、日々、理念や方針に沿って取り組みを実践する中で、小さな問題点に気づき(問題発見力の向上)、その気づきに対し、改善※23・カイゼン※24につながるアプローチをする取り組みを実践しております。その取り組みを成功事例として毎月の店長会で共有することで、改善※23・カイゼン※24が進み、その報告を見聞きした職員が素直に真似るといった好循環も見られるようになってきました。



### 5. 理念・方針に基づいた考動が増えました。

各店舗では、理念に沿った考動をした職員に光を当て表彰することを推進し、3月末累計で539件(人数はチーム単位もあるのでそれ以上)の表彰が行われました。大切なことは件数の増加ではなく、一人ひとりの職員がコープおきなわの理念や方針に沿った考動が増えていることです。表彰によってやりがいや笑顔の輪も大きく広がっています。

■右上に注釈※がついている語句

……P20～語句説明を記載しています

# くらしのサポート 事業

※数値は2月決算時見込み

		2024年度実績	予算比	2023年度対比
供給高	ハウジング	2.6億円	62.3%	67.3%
	葬 祭	1.5億円	76.9%	90.6%
	夕食宅配	3.9億円	101.6%	111.7%
収 入	共済(受託収入)	3.3億円	101.9%	100.6%

## ■2024年度まとめ(要約)

くらしのサポートセンター(共済除く)の供給高は予算比80.5%(前年比89.1%)でした。

1. ハウジングは競合状況の厳しさもあり、問い合わせや受注件数が少なく供給予算未達でした。
2. 葬祭は葬儀件数、単価とも目標に届かず供給予算未達でした。
3. 夕食宅配は利用者の増加と「弁当+おにぎり」のお届け開始で供給予算を達成しました。
4. 共済は受託収入予算達成、加入件数(9,933名、予算比75.7%)は予算未達でした。
5. 買物支援サービス(買物 BUS<sup>※18</sup>・まちかど便<sup>※25</sup>)は利用者・利用高とも前年より増えました。

## ■具体的な取り組み

### 1. ハウジング

- (1) 問い合わせ件数は2,024件(前年比89.6%)、完工件数は1,517件(前年比88.9%)。競合状況の厳しさもあり目標に届いていません。複数プランの提案で選択肢の幅を広げる取り組みをすすめます。
- (2) 「出来ている人に学ぶ」に取り組み、全体のスキルアップをすすめています。

### 2. 葬 祭

- (1) 葬儀件数は218件(前年比93.6%)で、うち、ひやごんホールでの葬儀は113件(前年比98.3%)です。葬儀単価は59万円(前年比101.3%)で、事前相談は178件(前年比122.7%)と増加しています。コープ葬祭の認知度を上げるため、広報の見直しをすすめています。
- (2) 積立登録<sup>※26</sup>キャンペーンに取り組み、登録者は1,752名(前年比119.8%)に増えています。

### 3. 夕食宅配

- (1) お届け体制が整う中、営業活動も強化され、週平均利用者は1,965名(前年比108.6%)と増えました。
- (2) 10月から「弁当」+「おにぎり」のお届け企画を開始。月平均1,900個ほどの利用となっています。



### 4. 共 済

- (1) 加入件数は物価高騰、保障見直しなどの影響を受け、目標に届きませんでした。体制が整う中、営業推進力が向上し、前年比は116.4%と伸長しています。
- (2) 9月から「お誕生日前申し込み」<sup>※27</sup>がスタートしました。漫画『コウノドリ』とのタイアップやテレビCMの強化により、新規申込数が207名となりました。



### 5. 買物支援

#### (1) 買物 BUS<sup>※18</sup>

- ① 登録者数は利用者からの紹介、クチコミでの広がりもあり、4月の89名から131名と増えています。年供給高は2,118万円(前年比291.4%)と伸長しています。
- ② 2月に2号車を導入し、Cこくば、Cおろくまでサービスエリアを拡大しました。



#### (2) まちかど便<sup>※25</sup>

- ① 停留所の新設などもあり、延べ利用人数は23,730名(前年比103.5%)、供給高は4,062万円(前年比107.2%)と増えています。



■右上に注釈<sup>※</sup>がついている語句  
……P20～語句説明を記載しています

# バックアップ本部 総合推進室

## ■2024年度まとめ(要約)

1. 多様なライフスタイル、年代の人が参加・参画できる場づくりをすすめました。
2. 情報発信の工夫をすすめ、生協の取り組みへの共感を広げました。
3. 地域諸団体との協働によって、「誰かの笑顔につながる」取り組みの輪を広げました。
4. 「2030環境・サステナビリティ政策」<sup>※13</sup>と、SDGs 優先課題「安心して暮らし続けられるまちづくり」「平和の取り組み」を推進しました。

## ■具体的な取り組み

### 1. 400名の総代が選出されました。

総代定数400名のうち継続総代が268名で67%、新規総代が132名で33%となりました。新規総代は前年よりも31名増えました。年代別内訳で最も多い年代は50代の27%。20~30代は、昨年7%(28人)でしたが、今年は13%(53人)となり、25名増えました。各ブロックで行われた地域別総代会議では、子連れの会場参加も見受けられ、様々な年代が集うにぎやかな場となりました。



### 2. コープおきなわの Instagram フォロワー数8,900人を超えました。

SNSでの情報発信の工夫を進め生協の取り組みへの共感が広がりました。Instagramは他企業とのコラボレーション企画などに取り組み、フォロワー数が大幅に増えました。お得情報やコープ商品の紹介、季節に合わせたお料理レシピなど、様々な情報発信をしています。楽しい動画やプレゼント企画などもあり、コープのことをより身近に感じることでできる情報発信ツールとなっています。



登録はこちら!

### 3. 妊婦さん、産後すぐのママを対象とした交流会「つながるしゃべり場」を開催しました。

「初めての出産や子育てで不安もいっぱいだよ」「ひとりで抱えないで話してみない?」と子育て支援・食育推進委員会がつながりを持ってほしいという想いで、参加者同士の交流会「つながるしゃべり場」を開催しました。輪になっておしゃべりが始まり、自由に何でも話せる雰囲気での交流は進み、終了時間になってもなかなか終わらないくらいの盛り上がりでした。コープの子育て応援として、きらきらステップ(宅配・離乳食)やコープ共済(保障)、夕食宅配の紹介もおこなわれました。



### 4. おきなわアジェンダ21 県民環境フェア in 北中城<sup>※14</sup>へ参加しました。

イオンモールライカムにて環境フェアが開催され、環境推進委員会とおきなわコープエナジーがブースを出展しコープおきなわの環境活動について紹介しました。環境タペストリー<sup>※28</sup>を使ったエシカル消費の展示や環境認証ラベルクイズも開催し、多くの親子連れが参加しました。



### 5. 今年度のくらしづくり活動の状況について

くらしづくり活動企画数について、前年に比べ2件増加し、68件(2025年3月末現在)となり組合員の参加も254名が増えました。特徴として親子企画が増え、特に子どもの参加が増えました。平和企画や環境企画、暮らしに役立つ企画、子育て支援企画など各ブロックや専門委員会が工夫を凝らした企画・運営を行いました。

■右上に注釈<sup>※</sup>がついている語句  
……P20~語句説明を記載しています

## バックアップ本部 その他部署

### ■総務部 2024年度まとめ(要約)

1. 若手、中堅、女性職員の学びと交流の場づくりや、次のステージへ挑戦する環境づくりをすすめました。
2. 労務管理のDX化<sup>\*30</sup>をすすめています。
3. 働き続けられる職場環境づくりをすすめています。

### ■経営管理部 2024年度まとめ(要約)

1. 協同購入、店舗取引先への商品仕入代金の支払通知書を電子化し、郵送作業と紙の削減による環境負荷の低減をすすめることができました。
2. 店舗出店の予定や出資金原則運用開始後2年目となる減資申請状況などを踏まえた資金計画を作成しました。資金繰りは安定した状況が続いています。
3. 2027年度開始予定の新リース会計基準<sup>\*31</sup>対象取引の洗い出しをすすめました。

### ■情報システム室 2024年度まとめ(要約)

1. あっぶるタウンへのフルセルフレジの導入とクレジットタッチ決済を実現しました。
2. 加入後すぐにポータルアプリCO・OPプラスで電子マネーあぶかが利用できるよう改善しました。
3. サイバー攻撃<sup>\*32</sup>対策として、訓練を実施し、適切に備えがされているか点検を行いました。

◎議案の本旨に反しない範囲の字句修正は、理事会にご一任ください。

■右上に注釈<sup>\*</sup> がついている語句  
……P20～語句説明を記載しています

## 【3】2024年度 決算報告と剰余金処分手案

### 【2024 年度決算】

※システムトラブルの影響により、決算業務が遅れております。

### 【2024 年度剰余金処分（案）】

決算作成が遅れていますが、処分額については以下のとおり予定しています。

#### (1) 法定準備金

- ①定款では出資金総額の50%に相当する額に達するまで、毎事業年度の剰余金の10%以上の積み立てが定められています。今回も当期剰余金の10%以上を積み立てます。

#### (2) 出資配当金

- ①組合員の出資金年度末残高に対する出資配当は、前年同様の 0.2%とします。配当額見込みは11,500千円です。市中銀行の定期預金（1年満期）利率は0.125%となっており、上回る配当率となります。

#### (3) 事業リスク対策積立金

- ①自然災害やサイバー攻撃被害などあらゆる不測の事態に備えて、10,000千円を積み立てます。処分後の積立金は20,000千円となる予定です。

#### (4) 資産再評価積立金

- ①競合の激化や事業経費増による店舗の損益悪化にともなうに減損損失処理等の発生に備えて、50,000千円を積み立てます。処分後の積立金は60,000千円となる予定です。

#### (5) 周年事業準備積立金

- ①2025年度2月に50周年記念事業を予定しており、支出に備え15,000千円を積み立てます。処分後の積立金は25,000千円となり、2025年度では取崩しの予定です。

#### (6) 次期繰越剰余金

- ①上記処分額を控除した額を翌期に繰越します。次期繰越剰余金には、教育事業等繰越金が含まれません。
- ②教育事業等繰越金については、定款では毎事業年度の剰余金の5%以上を翌期に繰り越すことが定められています。5%相当額以上を含めて繰越します。

※当期末処分剰余金の増加要因となる見込みの法人税等調整額▲1.5億円は出資配当や任意積立金の処分は行わず、次期繰越金に含めるものとします。

**【2024 年度剰余金処分（案）】** ※処分案イメージ

(単位：円)

項 目	金 額
I. 当期末処分剰余金	<u>〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇</u>
II. 剰余金処分量	
1. 法定準備金（見込み）	31,000,0000
2. 出資配当金	11,500,0000
3. 任意積立金	
(1) 事業リスク対策積立金	10,000,0000
(2) 資産再評価積立金	50,000,0000
(3) 周年事業準備積立金	15,000,0000 <u>117,500,000</u>
III. 次期繰越剰余金	<u>〇〇〇, 〇〇〇, 〇〇〇</u>

◎議案の本旨に反しない範囲の字句修正は、理事会にご一任ください。

# 第2号議案 2025年度活動方針・事業計画 及び予算決定の件

## 【1】2025年度活動方針基調

### 《取り巻く環境、情勢等》

「新型コロナ」の収束とそれに伴う社会経済活動の正常化によって、「普段の暮らし」に戻りつつあります。沖縄の地域経済でも観光業を中心に一部で好調な分野があるなど、回復の兆しが少しずつ見え始めていますが、暮らしの実感としては“消費の低迷”が続いている印象です。

さらに、ロシアによるウクライナ侵攻やパレスチナ・イスラエル戦争、南西諸島での軍備増強など、暮らしの基本である平和が脅かされるような国際情勢がつづいています。

エネルギー資源や食糧などの物価高も常態化し、私たちの暮らしは厳しさを増しています。国際的にも国内的にも厳しい状況におかれています。

また、消費の後押しを目的とした最低賃金の引き上げは加速し、労働力不足の現状と相まって、雇用問題への対策は重要な経営課題となっています。

国内外では自然災害が頻発し、激甚化しています。沖縄も例外ではなく、大型化する台風の影響で長期間の欠品が毎年のように発生し、私たちの暮らしや事業に大きな影響を与えています。

一方、SDGsの取り組みは世界的な拡がりとともに、地域社会へも深く浸透しています。SDGs経営は社会の共通認識となり、環境への配慮（2030環境サステナビリティ政策<sup>※13</sup>）も重要な取り組みとなっています。

また、コープおきなわは2024年、長年苦しんできた累積赤字を解消することができました。今後は持続可能な組織づくりに向けて力強く、歩みをすすめます。

2025年度は、3つの節目を迎える年でもあります。「創立50周年（2026年2月）」を迎えることと、国連が定めた2回目の「国際協同組合理年<sup>※33</sup>」であること、そして、「戦後80年」を迎える年です。これを機に生協の存在意義や果たしてきた役割などを振り返り、これからを創造していく節目の年とします。

先行き不透明なVUCA<sup>※54</sup>の時代です。パーパスの実践や組合員の声を聴き、受け止めることを今まで以上に大切にします。また、全国の生協の仲間と一緒に作った「つながる力で未来をつくる・COOP 2030ビジョン」で描いた、ありたい姿を沖縄の地でも着実に実現していくことが、コープおきなわの未来につながります。

### 《基本方針》

◎第15期アクションプラン<sup>※34</sup>に沿って、経営構造改革&未来づくりをすすめます。

①供給高の伸長、②経費の適正化、③体制の安定化、④組合員の運営参加（政策づくり）

◎「生協の価値再認識と持続可能な組織づくり」を基本コンセプトに、組織の持つ強みや価値を探求し、それを伸ばしていきます。

◎3つの節目（創立50周年、戦後80年、国際協同組合理年<sup>※33</sup>）を生協らしく<sup>※35</sup>対応します。

◎組織づくりのテーマとして、『基本の再確認と実践』<sup>※36</sup>を提起します。

■右上に注釈<sup>※</sup>がついている語句  
……P20～語句説明を記載しています

## 1. 「組合員の期待に応え続けられる生協」になる為、理念にそった取り組みの進化・深化をはかります。

- (1) 永続的に発展していくために、単年度の経常剰余金<sup>※3</sup>1.3億円をめざします。
- (2) 「組合員の声を聴き、受け止め、運営や方針に活かすこと」と「パーパス<sup>※6</sup>の実践」を今まで以上に大切にします。
- (3) 組織としての規範(判断や行動の基準となる規則やルール)や「価値基準(統一された価値観)」などを整理し、自律的に考動できる「環境」や「しくみ」を整えます。
- (4) 「基本の再確認と実践」<sup>※36</sup>を柱に、組織づくりをすすめます。

## 2. 誰もが安心して働き続けられる職場づくりをすすめます。

- (1) 多様な方法で人財を確保し、共育プログラムの充実で定着率の向上を図り、体制の安定をめざします。
- (2) C-WEST<sup>※37</sup>からの提言(えるばし<sup>※51</sup>・くるみん<sup>※52</sup>の取得、若手職員の定着、障がい者雇用拡大など)をスピーディーに実践することで、誰もが安心して、働き続けられる職場づくりをすすめます。

## 3. 「日本の生協の2030年目標に向けた実践」と「コープおきなわの「SDGs優先課題」をすすめます

- (1) 2030年度時点での、ありたい姿に向け、実践をすすめます。
  - ①「つながる力で未来をつくる・COOP2030」<sup>※11</sup>
  - ②【2030環境・サステナビリティ政策】<sup>※13</sup>
- (2) SDGs17の課題すべてが大切ですが、特に以下の3つを優先してすすめます。
  - ①SDGs11 住み続けられるまちづくりを
  - ②SDGs12 つくる責任 つかう責任
  - ③SDGs16 平和と公正をすべての人に

## 4. 供給高<sup>※2</sup>を増やししながら、経費率<sup>※19</sup>の適正化をすすめ、持続可能な経営構造に改革します。

- (1) 協同購入事業では、個別利用人数10%伸長と、既存組合員の定着率を高め、供給高<sup>※2</sup>3%伸長をめざします。また、コープ九州事業連合<sup>※38</sup>との連帯を強め、ぱれっと<sup>※39</sup>の翌週配達やMD共同化<sup>※40</sup>の可能性を探り、利用のしやすさを追求します。
- (2) 新店準備と既存店の損益構造改革<sup>※41</sup>で安定した店舗事業を推進します。
- (3) 共済事業は、保有件数16万件をめざします。協同購入や店舗、グループ会社との連携強化を図り、人財育成を柱に、推進力を高めます。
- (4) 暮らしサポート事業(ハウジング・葬祭・夕食宅配)では、既存事業の深化(業務の見直し、人財育成、基盤整備など)をすすめ、供給高の伸長、経費の適正化、体制安定に取り組みます。
- (5) お買物支援の取り組み(買物BUS<sup>※18</sup>・まちかど便<sup>※25</sup>)を生協らしくすすめます。  
「買物BUS」は伸長計画で臨みます。「まちかど便<sup>※18</sup>」は、買物支援の象徴的な取り組みとして続けます。経営的な判断は、都度行います。
- (6) IT 技術の利活用で、生産性の向上を図ります。また、業務の効率化により既存人財の流動化を図り、経費率<sup>※19</sup>の適正化をすすめます

## 5. 組合員の運営参加を広げます

- (1) 多様な参加形態で活動に参加する組合員を増やします。
- (2) 「国際協同組合同年」<sup>※33</sup>を機会に、協同組合(くらしづくり活動も含む)の存在価値や役割などについて学び、伝え、広げます。
- (3) 活動エリアの考え方やあり方など、生協の未来を担う「組合員組織」と「運営参加」についての考え方を整理します。

■右上に注釈<sup>※</sup> がついている語句  
……P20~語句説明を記載しています

## 【2】2025年度 方針(事業・活動)

### 1. 協同購入事業

安定した事業構造を構築し、組合員のくらしと生協の未来づくりに貢献します。

- (1) 利用のしやすさを高め、個別利用人数を10%、全体供給高<sup>※2</sup>は3%以上の伸長をめざします。
- ①生協のおさそい(新規加入)の「型」を刷新し、誰でも同じように考動できるよう仕組みづくりをすすめます。
  - ②コープおきなわの組合員平均年齢は年々上昇しており、70歳~74歳が構成比で一番高い状況です。  
子育て世帯の加入及び利用を増やす為、「COOP きらきらステップ」<sup>※42</sup>シリーズの企画を増やします。
  - ③広報チームと連携をはかり、SNSを活用するなどの「デジタル施策」で新規加入や利用を広げます。
  - ④組合員さんから要望の多い宮古・石垣エリアでの「個別利用」の実施について調査・検討を始めます。
  - ⑤個別手数料の割引制度を見直し、より利用しやすい環境をつくります。
- (2) 事業構造改革をすすめ、生協の未来づくりに貢献します。
- ①コープ九州事業連合<sup>※38</sup>との連携を深め、「ぱれっと<sup>※39</sup>カタログの商品を全て翌週お届けすること」や「組合員がカタログを選択できる仕組み」など、“一緒にできること”の可能性を探ります。
  - ②老朽化する商品セットセンター(1987年開設)について今後の対応を検討していきます。
  - ③物件費、人件費が高騰している現状を、個別利用手数料や離島利用手数料などの見直しを行うことで持続可能で安定した事業構造への改善をめざします。
  - ④2024年度に実施した配達コースの見直しについては組合員の声をお聴きしながら、引き続き、生産性の向上と車両走行距離を減らすことによるCO<sub>2</sub>削減の取り組みがすすむよう、改善に取り組みます。
- (3) 人材育成と職員の働き方改革をすすめます。
- ①生協職員としてやりがいや働きがいを得られるように「キャリア採用」<sup>※7</sup>の共育プランを作成します。
  - ②配達トレーナー制度を導入し、お届け先での基本やお申し出(五大案件<sup>※55</sup>)を減らし「お届け品質」向上をめざします。
  - ③連続休暇(夏季等)の設定やセンター運営の見直しを行い、職員の身体的な負担の軽減やモチベーションの向上、コープおきなわで働き続けたいと実感できる労働環境をつくります。
- (4) 商品利用を広げ、くらしへのお役立ちを高めます
- ①商品を知り、学ぶ機会(学習会、産地・工場視察)を増やし、商品と組合員をつなぐ取り組みをすすめます。
  - ②学習資料のデジタル化をすすめ、いつでも学べる環境をつくります。
  - ③ブロック協議会やセンター単位での地域密着型の商品開発や導入をすすめます。
- (5) 2030 課題・SDGsの課題に継続して取り組みます。
- ①フードドライブスマイルピックアップ<sup>※21</sup>~もったいないを笑顔に変えよう~の取り組みを年2回実施します。
  - ②エシカル商品<sup>※16</sup>や産直商品<sup>※43</sup>、PB(留め型)商品<sup>※44</sup>の推進を行います。

■右上に注釈<sup>※</sup>がついている語句  
……P20~語句説明を記載しています

## 2. 店舗事業

新店準備と既存店の生産効率を高めた店舗運営体制づくりをすすめ、持続可能な事業構造の構築をめざします。

- (1) より利用しやすい環境をつくり、供給高3%以上の伸長をめざします
  - ①「発注支援システム」の運用で品切れを減らし、組合員さんが「欲しいものがある」買い場をめざします。
  - ②コープ商品や重点商品(季節やくらしのイベント)を中心に、オススメ活動(供給促進)を再強化します。
  - ③ニーズが高まる惣菜部門は、新商品の導入や既存商品の見直しなどで「美味しく、魅力ある商品づくり」をすすめます。
  - ④LINE や「コーププラス(アプリ)」の登録を推進し、お買い得情報やクーポン配信で来店して頂くきっかけを増やしていきます。
  - ⑤組合員証未提示の方(未組合員)に、生協加入のおさそいを強め、組合員としての利用を広げます。
- (2) 10号店出店に向け準備をすすめていきます。
- (3) 既存店の損益改善・生産性の向上をめざします。
  - ①IE/QC<sup>※45</sup>や ECRS<sup>※46</sup>の視点で業務の在り方を見直し続けます。
  - ②フルセルフレジなどの省人化機器の導入と日々の業務改善で生産性の向上を図ります。
- (4) イキイキとした組織づくりと個々の成長につながる人財共育をすすめます。
  - ①職員の頑張りや改善<sup>※23</sup>・カイゼン<sup>※24</sup>事例を店長会で共有し、好事例のヨコ展開や自発的な行動につなげます。また「成功事例報告」を動画で視聴できる環境をつくり、方針に沿った事例を共有していきます。
  - ②日常業務の中で「組合員の声」を聴いて、声に基づいた仕事づくりを実践していきます。
  - ③外部講師による座学講義や実習などを通して専門的な知識やスキルを身につけていきます。
- (5) 「生協の2030環境サステナビリティ政策」<sup>※13</sup>や「SDGs」の課題に継続して取り組みます。
  - ①フードドライブ<sup>※22</sup>の年2回の実施や台風時入荷遅れの際には各社協と連携して商品提供をすすめます。
  - ②コープのサステナビリティ商品<sup>※47</sup>の普及と学習をすすめます。

## 3. くらしのサポート事業

既存事業の深化をすすめ、供給高の伸長、経費の適正化、体制安定に取り組めます

- (1) 共済事業は、「たすけあい」の原点に学び、くらしの安心を広げます。
  - ①CO・OP共済の歴史や理念に学び、取り組む意義や良さを全職員で再確認し、推進していきます。
  - ②「はじめてばこ」<sup>※48</sup>の取り組みからの加入を広げることや「お誕生日申し込み」<sup>※27</sup>「学生総合共済」  
「どこでも加入」<sup>※49</sup>を推進します。
- (2) コープハウジングは、利用する組合員さんの立場にたった提案で「コープに任せてよかった」と言ってもらえるように取り組みます。
  - ①基本業務マニュアルを整備し、高いスキルでの業務推進を行います。また、出来ている人、ヨコヨコの「学びの場」を設定します。
  - ②精度が高く、スピーディーな見積提案と複数プラン(松竹梅)の提示で組合員の選択肢を広げます。
  - ③モデルルームを活用したくらしの相談・学習会、展示販売会、イベント企画などを開催します。

■右上に注釈<sup>※</sup>がついている語句  
……P20～語句説明を記載しています

- ④積み立て制度の広報・アピールを強化し登録者数を引き上げます。
- (3) 葬祭事業は、事業基盤を強化しながら変化するニーズに対応した新たな取り組みを実践します。
  - ①海洋散骨、樹木葬、ペット葬、納骨、遺品整理、相続相談などに対応できるよう準備をすすめます。
  - ②「家族葬」について新たなオプションプランを構築します(骨壺、棺桶など)
  - ③ひやごんホール敷地内に新たな仮安置室を増設し、受け入れ機会を増やします。
  - ④葬祭学習会、イベント企画、相談会などを開催し、認知度を高めるとともに利用者を増やします。
  - ⑤積み立て制度の広報・アピールを強化し登録者数を引き上げます。
- (4) 夕食宅配は、冷凍弁当の開発・導入をすすめ、お求めやすい価格、離島お届け、配達効率の改善を目指します。また、毎日のお弁当にプラス1品商品のお届けで組合員さんのニーズに応えていきます。
- (5) 買物支援(買物 BUS<sup>※18</sup>、まちかど便<sup>※25</sup>)は、行政、地域、協同購入、店舗とつながりを強め、利用組合員を増やします。ニーズが高まる買物 BUS<sup>※18</sup>は、利用店舗とエリア拡大、移動店舗「まちかど便」は既存エリアでの利用人数増をめざします。

## 4. 暮らしづくり活動

**組合員の「声」に基づいた活動を推進し、地域の多様な個人、団体との協働をとおして「誰もが安心して暮らし続けられるまちづくり」に貢献します。**

- (1) 多様なライフスタイル、年代の人が参加・参画できる場づくりをすすめます。情報発信の工夫をすすめ、生協の取り組みへの共感を広げます。
- (2) 地域諸団体との協働によって、「誰かの笑顔につながる」取り組みの輪を広げます。
- (3) ブロック活動エリアの考え方と活動の在り方について、委員会を設置し、検討をすすめます。
- (4) 「2030 環境・サステナビリティ政策」<sup>※13</sup>と、SDGs 優先課題「安心して暮らし続けられるまちづくり」「平和の取り組み」を推進します。
- (5) 広報を強化し、SNS の幅広い活用を通し事業や暮らしづくり活動に貢献します。
- (6) 戦後80年を機にこれからの平和の取り組みについて、考える機会をつくります。
- (7) コープおきなわ50周年の準備を進めます。
- (8) 2025年は、国連が定めた2回目の「国際協同組合年」<sup>※33</sup>です。その背景や期待、様々な実践に学び、今後の生協づくりに活かすとともに、協同組合間協同<sup>※50</sup>の取り組みを強めます。

## 5. その他部署

- (1) 職員の処遇改善と次世代人財の育成を進めます。(総務部)
- (2) 人財育成とえるぼし<sup>※51</sup>・くるみん<sup>※52</sup>取得に向けての取り組みをすすめます。(総務部)
- (3) 情報セキュリティの学習会を開催し、インシデント<sup>※53</sup>発生時の初動対応を強化します。(情報システム室)
- (4) 経営管理機能の強化とDX<sup>※30</sup>を推進します。

◎議案の本旨に反しない範囲の字句修正は、理事会にご一任ください。

■右上に注釈<sup>※</sup> がついている語句  
 ……P20～語句説明を記載しています

## 【3】2025年度予算

### 【2025年度予算案】

1. 2025年度予算は下記を予定します。(2024年度見込みは2月決算時点)

“事業広報費をはじめとする経費増のため、増収減益の予算”

- (1) 供給高は220.7億円を予定します。(2024年度見込比103.5%、見込差+7.4億円)
- (2) 経常剰余金は1.3億円を予定します。(2024年度見込み比74.5%、見込差▲0.4億円)

2. 2025年度予算案の主な特徴

- (1) 供給高は2024年度より7.4億円の増加、経常剰余金は見込より4,400万円の減少、2024年度予算に対しては7,000万円の減少です。
- (2) 収入：事業総剰余金は2024年度より、3.4億円増加の69.4億円です。
- (3) 経費は人件費103.0%、物件費106.2%、合計69.9億円で、2024年度より約3.1億円の増加です。
- (4) 人件費はフルタイム新卒採用等により1,900万円の増加。パートナー職員給与は24年度下期からの時給引上げにより25年度上期も増加が続き4,800万円の増加。人件費計では8,600万円の増加予定です。
- (5) 物件費は、協同購入利用人数増加や50周年式典関連費用等により事業広報費+6,500万円、修繕投資等による減価償却費+3,200万円、水道光熱費の上昇に備えて+2,900万円等を予定しており、物件費計では、2億3,200万円の増加予定です。
- (6) 事業外収支では、雑収入1億3,900万円、24年度見込みより5,900万円減少。24年度はみなし自由  
脱退処理済み出資金8,200万円を計上したため、減少する予算です。
- (7) 経常剰余金は1.3億円、2024年度見込みより4,400万円減少、2024年度予算より7,000円の減少です。
- (8) 特別損失は、固定資産除却損1,000万円を見込んでいます。
- (9) 経常剰余金から特別損失、法人税等を差し引いた当期剰余金は8,000万円の計画です。

### 3. 主な科目の増減(2024年度見込・予算との比較)

	2025 予算案	2024 見込比	見込差	2024 予算比	主な要因(見込比較)
供給高	220.7 億円	103.5%	+7.4 億円	101.4%	協購+5 億円 店舗+1.6 億円 くらサポ+0.9 億円
GPR	26.2%	101.4%	+0.35%	100.5%	店舗+0.6%
収入	69.4 億円	105.2%	+3.3 億円	102.6%	協購+1.7 億円、店舗+1.1 億円 くらサポ+0.5 億円
経費	69.9 億円	104.5%	+3.1 億円	103.0%	協購+0.8 億円、店舗+1.4 億円 バックアップ本部 0.9 億円
人件費	30.0 億円	103.0%	+0.9 億円	102.9%	フルタイム給与+0.2 億円、 パートナー給与 0.5 億円
物件費	39.9 億円	106.2%	+2.3 億円	103.2%	事業広報費+0.6 億円、 減価償却費+0.3 億円、 水道光熱費+0.3 億円
経常 剰余金	1.3 億円	74.5%	▲0.4 億円	65.0%	

### 4. 2025 年度予定する主な投資(1,000 万円以上)

単位:千円

NO	事業本部	部門名	予定月	商品名	金額
1	協同購入事業	物流部	10 月	冷凍集品ライン 商品増加対応 プログラム	47,000
2	〃	物流部	10 月	冷凍集品ライン 表示器更新	11,480
3	〃	物流部	4 月	非常用発電装置入替	15,000
4	店舗事業	新店舗	4~10 月	敷金、建設費中間金	555,000
5	〃	コープおろく	2 月	店舗リニューアル	110,000
6	〃	あっふるタウン	7 月	トイレ改修工事	20,000
7	〃	あっふるタウン	7 月	外壁塗装工事	20,000
8	〃	あっふるタウン	6 月	エスカレーター更新工事	20,000
9	〃	あっふるタウン	12 月	エレベーター更新工事	20,000
10	バックアップ本部	情報システム室	10 月	情報ネットワーク機器更改	47,000
				合計	865,480

NO5コープおろくりニューアルについては、2025年度の損益状況をふまえ、あらためて投資判断を行います。

◎議案の本旨に反しない範囲の字句修正は、理事会にご一任下さい。

## 第3号議案 2025年度役員報酬限度額決定の件

(1) 役員 の 2025年度年間報酬限度額(上限額)について提案します。

(2) 総額は下記の範囲とし、その範囲内における各役員 の 報酬額、支給方法については、「役員報酬規則」、「常勤役員報酬規則」、「常勤役員報酬算定規則」にもとづいて決定します。

理事の報酬は理事会に、監事の報酬は監事会にご一任ください。

■理事20名の報酬 総額 4,069万円(前年額同額)

■監事4名の報酬 総額 771万円(前年額同額)

◎議案の本旨に反しない範囲の字句修正は、理事会にご一任ください。

参考資料:「常勤役員報酬算定規則」より抜粋

(常勤理事報酬の算定基準)

第2条 常勤理事の報酬は、次の基準にもとづき算定する。

- 1 常勤理事報酬の算定は、コープ九州会員生協の常勤理事の平均報酬額に、コープおきなわ職員平均賃金とコープ九州会員生協職員平均賃金との比率を乗じたものを基本とする。

\*職員給与実績は、日本生協連発行「賃金労働条件調査」にもとづくものとする。

- 2 常勤理事の報酬は、固定制とし、別表1の通りとする。

(常勤監事報酬の算定基準)

第3条 常勤監事の報酬は、次の基準にもとづき算定する。

- 1 常勤監事の報酬は、監査職務の分担状況と常勤理事の報酬内容及び水準を考慮して、算定する。
- 2 常勤監事の報酬は、固定制とし、別表2の通りとする。
- 3 常勤監事の報酬は、監事会の協議で決定する。

別表1 常勤理事報酬

役職名	報酬額
理事長	1092万円
専務理事	1014万円
常務理事	936万円
常勤理事	858万円

別表2 常勤監事報酬

役職名	報酬額
常勤監事	600万円

## 第4号議案 役員選任の件

「定款」第19条(役員を選任)並びに「役員選任規約」第9条(役員選任議案の説明及び採決)にもとづき、うるま市ブロック地方区分理事の選任を提案いたします。理事候補者は、次の通りです。

区分	ブロック	氏名
地方区分理事	うるま市	<small>てるや</small> 照屋 <small>りえこ</small> 利江子

◎議案の本旨に反しない範囲の字句修正は、理事会にご一任ください。

◎参考資料:「定款」より抜粋

(役員を選任)

第19条 役員は、役員選任規約の定めるところにより、総代会において選任する。

2 理事は、組合員でなければならない。ただし、特別の理由があるときは、理事の定数の3分の1以内のものを、組合員以外の者のうちから選任することができる。

3 理事は、監事の選任に関する議案を総代会に提出するには、監事の過半数の同意を得なければならない。

◎参考資料:「役員選任規約」より抜粋

(役員選任議案の説明及び採決)

第9条 理事は、総代会において役員選任議案の内容を説明しなければならない。

2 総代会における役員選任議案の採決は、候補者全員を一括して行うものとする。ただし、議長が定めることにより、理事の選任に係る部分と監事の選任に係る部分を区分して採決することを妨げない。

※コープおきなわの独自用語については、(🍎) マークを追記しています。

※	語句	説明
1	減収減益	収入(供給高)・利益(経常剰余金)が前年実績より低い状態のことです。
2	供給高	一般にいう「売上高」ですが、コープおきなわでは「供給高」と表現します。商品がどれだけ売れたかが分かります。皆さんのご家庭に言い換えれば、「収入」の部分です。
3	経常剰余(金)	その企業が毎年どれくらい稼いでいるかを示す、大事な利益の指標です。ご家庭での家計に言い換えると、経常剰余金がプラスであれば『家計は黒字』、マイナスであれば、『家計は赤字』となります。
4	出資金の原則運用	出資金の返還に関する決まりのことで、事業年度末の90日前(前年12月)迄に申請された出資金の返還を年度末(翌年3月)に行うことを指します。
5	ブロック協議会 (🍎)	「地域の組合員の声を事業や活動につなげる」ことを役割として、県内12ブロックのエリアで分けられた地域ごとの協議会のことです。理事・くみかつ委員・地域サポーターと役職員が参加し、毎月1回会議が行われています。
6	パーパス	企業が存在する理由や社会に提供する価値を明確にする目的で定められたものです。コープおきなわのパーパスは、以下の通りです。「私たちは、問題発見力を向上させ、未来へのチャレンジと多様なつながりで、沖縄県民のくらしの最適解を実現し続けます」
7	キャリア採用	新卒採用と違い、特定のスキルや経験を有する人財を即戦力として採用することです。
8	メンター制度	上司とは別に、年齢の近い年上の先輩職員や、入社歴が近い先輩職員が定期的に相談にのり、新入職員や若手職員をサポートする制度のことです。
9	登用制度	パートナー職員⇒フルタイム限定型、フルタイム限定型⇒異動型へなど、キャリアアップできたり、職種を変えて働くことができる制度など、自らの意思で自分にあった働き方にチャレンジできる制度のことです。
10	役員メンター研修	女性幹部候補職員と常勤役員がペアになり、定期的に相談にのることで、経験不足等からくる不安や心配をサポートできる制度のことです。
11	つながる力で未来をつくる・COOP2030	「日本の生協の2030年ビジョン」では、SDGsの考え方をベースとしながら生協がめざす姿を描きました。生協や協同組合のつながりに加え、行政・諸団体・事業者・個人など、人と人とのつながりから生まれる力を活かし、「つながる力」で次の5つを実現していきます。 ①生涯にわたる心ゆたかなくらし ②安心してくらし続けられる地域社会 ③誰一人取り残さない、持続可能な世界・日本 ④組合員と生協で働く誰もが生き活きと輝く生協 ⑤より多くの人々がつながる生協
12	地域活動支援制度 (🍎)	地域の人々のくらしに役立つ取り組みや、社会的課題の解決に向けた企画(イベント)を支援する制度。人とひとがつながり「安心して暮らし続けられるまちづくり」に向けた取り組みが広がることをめざしています。承認された企画に3万円を上限に活動補助費を支給します。

※	語句	説明
13	2030環境・サステナビリティ政策 (コープおきなわ版) (🌀)	SDGsがめざす持続可能な社会を実現するために、全国の生協で推進する2030年までの政策のことです。具体的なアクションプランである「10の行動指針」と10年後の「2030目標」によって構成されています。
14	おきなわアジェンダ21 県民環境フェア	「おきなわアジェンダ21 県民環境フェア」は、沖縄県が主催する環境保全活動の一環として開催されるイベントです。県民一人ひとりが環境保全に向けて主体的に取り組む契機を提供し、子どもから大人まで楽しく参加・体験できる場を提供することを目的としています。
15	卒FIT	再生可能エネルギーのFIT制度(固定価格買取制度)の期間終了(卒業)を指しています。FIT制度とは、再生可能エネルギーを用いて発電された電気を国が定める価格で一定期間、地域指定の電力会社買い取ることを義務付ける制度です。家庭向け太陽光発電の場合、10年間の固定価格買取義務期間が設けられています。
16	エシカル消費(商品)	買物をするときに自分視点だけではなく、環境や社会など他者への視点をプラスする消費のことです。生協ではこれを、「誰かの笑顔につながるお買い物」と表現し、「地域」「環境」「社会」「人々」の4つの視点で進めています。詳しくはこちらの資料をご確認下さい。📄 
17	クワイエットアワー	光や音などの刺激が苦手な感覚過敏の方も快適にお買い物していただけるよう、コープ牧港で毎月第3木曜日の9~10時に「光と音」を抑えた店内で営業する取り組みのことです。
18	買物BUS(🌀)	様々な理由で日常の買い物にお困りの方をご自宅までお迎えにいき、コープのお店へ送迎するサービスです。基本的に毎週利用することや、自分でお買い物できることが一定の条件となります。
19	経費率	収入に対する経費の構成比率のことです。経費とは、人件費と物件費に分けられ、人やモノに対してかかっているコストの割合を指します。
20	ミックスお届け(🌀)	今までは地域担当者が分かれていた「個別配達」と「グループ配達」を、ミックスして地域ごとに担当者を割り当て、お届けする配達方法のことです。
21	フードドライブ(スマイルピックアップ)(🌀)	旧盆等の時期に余ってしまうギフトを必要な方に届けたいという組合員さんの声から始まった、フードドライブの取り組みです。協同購入のお届け時に参加できます。ご提供いただいた商品は、一旦、協同購入各センターで保管し、仕分けして各市町村の社会福祉協議会へつなぎ、食の支援が必要な方々へお配りしています。
22	フードドライブ	各家庭で消費されずに余っている商品を集め、必要としている方へ届ける取り組みです。店頭等で決まった時期に参加でき、ご提供いただいた商品は、各市町村の社会福祉協議会へつなぎ、お配りしています。
23	改善	悪い状態を良い状態にすることです。
24	カイゼン(🌀)	現状に満足せずより良い状態へ変化し続けることです。
25	まちかど便(🌀)	食料品や雑貨を積んだ車で販売をする移動店舗のことです。移動手段がなく買い物に不自由されている方や店舗が近くにない方に喜ばれています。

※	語句	説明
26	積立登録(葬祭)	葬儀の費用をあらかじめ準備(積立)できるサービスです。積立のお金は、コープ葬祭の費用はもちろん、香典返しなどの返礼品、仏壇・お墓の購入など、コープ葬祭のさまざまなサービスにご利用いただけます。
27	お誕生前申し込み	一定の条件を満たせば、お母さんのお腹の中にいる誕生前のお子さんも保障に加入できる制度のことです。
28	環境タペストリー	例えば、リサイクルされた PET ボトルから作られたインクジェット用クロスや、植物由来のバイオマス資源を使用したエコトロマットなど、環境に配慮した素材や製造方法を用いて作られたタペストリーのことでです。
29	被爆ピアノコンサート	広島の前爆で被爆したピアノを使用して行われるコンサートです。今回、組合員が平和への願いを込め、ピアノを演奏するコンサートが名護市と糸満市で行われました。
30	DX化	企業や組織がデジタル技術を活用して業務工程などを根本的に変革し、新たな価値を創造することを指します。
31	新リース会計基準	企業がリース取引をどのように会計処理するかを定めた新しい基準です。従来のリース会計基準では、リース取引を「ファイナンス・リース」と「オペレーティング・リース」に分類し、それぞれ異なる会計処理を行っていました。しかし、新リース会計基準では、この区分を廃止し、基本的にすべてのリース取引を貸借対照表に計上することが求められます。2027年度より適用される予定です。
32	サイバー攻撃	インターネットやデジタル機器を絡めた手口で、個人や組織を対象に、金銭の窃取や個人情報などの詐取、あるいはシステムの機能停止などを目的として行われる攻撃のことです。
33	国際協同組合年	国連は、持続可能な生産と消費、食料安全保障、気候変動対策、地域の人々への医療・福祉、働きがいのある人間らしい仕事の創出、すべての人が参加できる社会づくりなど、さまざまな分野で持続可能な開発目標(SDGs)に貢献している協同組合を評価し、その認知の向上と協同組合の振興のために、2025年を国際協同組合年(International Year of Cooperatives:IYC)に決めました。
34	第15期アクションプラン	コープおきなわでは、先行き不透明な状況の中、中期的(3年ごと)な方針の位置づけとして「アクションプラン」を毎年見直ししています。第15期アクションプランは、2025年~2027年の期間を対象に、創立50周年に向けた取り組みや、事業インフラの整備、新規出店、行政・地域組織とのつながりづくりなどの課題に対して見直しが行われました。
35	生協らしく(🍌)	「組合員が主権者(主人公)であること(組合員の声を聴くことがすべての始まり)」「組合員が買う組織であること(職員が売る組織ではない)」。この2つを、日常運営の真ん中におくことを「生協らしく」と定義しています。
36	基本の再確認と実践(🍌)	コープおきなわが大切にする「基本的な考え方」を6つにまとめ、そのキーワードの意味を職員・組合員で共通認識にするとともに、6つの考え方に基づいて行う実践的な内容を、「2025年度の方向性」として示します。方針書を作成し、職員がその都度、「基本的な考え方」や「方向性」について振り返ることができる環境をつくることで、基本を都度再確認し、実践していくことを目指しています。

※	語句	説明
37	C-WEST (🍷)	Coop-Woman・Empowerment・Support・Team の略。 女性をはじめとした、様々な立場の方が働きやすい環境づくりを目的として集められたチームで、英語の頭文字をとって「C-WEST」としています。
38	コープ九州事業連合	正式名称は「生活協同組合連合会コープ九州事業連合」。「確かな品質の商品を利用したい」「賢く買い物をしたい」など組合員のさまざまな願いをかなえるために、1993年11月、九州・沖縄8つの生協の出資により発足。商品の開発・改善や仕入れ、物流やシステムの運用・整備などを共同化することで、商品を利用しやすい価格で提供するとともに、高いレベルでの品質管理機能の構築や物流機能の効率化を実現しています。
39	ぱれっと	協同購入事業での、「主に雑貨商品を取り扱っているカタログ」のことです。
40	MD 共同化	商品を適切なタイミングで適切な場所に提供するために、協同で仕入れを行う仕組みのことです。コスト削減や品揃えの充実等につながるというメリットがあります。
41	損益構造改革	収益性を向上させるために、事業の構造や運営方法を見直し、改善する取り組みのことを指します。
42	COOP きらきらステップ	5カ月～3歳児の子どもに対応した、コープの離乳食・幼児食シリーズです。
43	産直商品	コープおきなわでは、産直(産地直結)三原則に基づき、生産者と消費者の共同の取り組みで、安心な農畜水産物をとものつくり育ててきました。 産直三原則とは、①生産地と生産者が明確であること。②栽培・肥育方法(農薬・肥料・飼料など)が明確であること。③組合員と生産者が交流できることを指します。
44	PB(留め型)商品	PrivateBrand(プライベートブランド)の略語です。 小売業・卸売業者等が、独自に企画・開発・販売する自社オリジナル商品のことを指します。
45	IE/QC	Industrial Engineering の略で、『良い業務を、確実に、楽に、素早くできるか』を追求する考え方です。 QCとは、Quality Control の略で、『業務上の様々な問題点を発見し、いかにして解決するか』を追求する考え方です。 店舗事業では、そのような考え方のもと、昨日よりも今日、今日よりも明日、より良くしていくことを継続しています。
46	ECRS	仕事を改善するうえでの仕組み・考え方です。作業を必要なものと必要でないものに分けて無駄な作業を除く(Eliminate:なくす)、似た作業を一つにまとめる(Combine:一緒にする)、仕事のやり方を見直し、手順を変更する(Rearrange:変える)、仕事のやり方をシンプル化する(Simplify:簡素化)取り組みのことで、それぞれの頭文字をとって ECRS(イクルス)と呼んでいます。
47	サステナビリティ商品	環境や社会に配慮した主原料を使った商品に、共通のロゴマークを付けてシリーズ化。こうした商品を”選んで使う”エシカル消費が「持続可能(サステナブル)」な社会実現につながります。

※	語句	説明
48	はじめてばこ	県内で誕生した赤ちゃんを対象に、そのご家族へプレゼントするBOXのこと。箱には商品の詰め合わせが入っており、赤ちゃんのご両親の「はじめて」を応援します。また、箱にはじめて使った肌着や食器、絵など保管でき、将来お子さんへのプレゼントに利用いただけます。
49	どこでも加入	職員が組合員と電話などでお話ししながら作成したおすすめプランを、組合員がメールやSMSで確認・検討し加入までできるシステムです。
50	協同組合間協同	複数の協同組合が連携し、共通の目的や利益を追求するために協力することを指します。この取り組みは、協同組合の理念である「協同し合うこと」を実践し、相互の強みを活かして、より大きな成果を上げることを目指しています。
51	えるぼし	女性の職業生活における活躍を推進する企業を認定する制度です。
52	くるみん	「くるみん」とは、厚生労働大臣が「子育てサポート企業」として認定した企業に与えられるマークのことです。この認定は、次世代育成支援対策推進法に基づき、企業が策定した一般事業主行動計画の目標を達成し、一定の基準を満たした場合に授与されます。
53	インシデント	日常業務やシステムの運用において発生する、望ましくない出来事や不具合のことを指します。対応を迅速かつ適切に行うことにより、被害を最小限に抑え、再発防止策を講じることができます。
54	VUCA	volatility(変動性)、uncertainty(不確実性)、complexity(複雑性)、ambiguity(曖昧性)の頭文字から一文字ずつとった造語。変化が激しく複雑で、将来の予測が困難となった社会を表すことばです。
55	五大案件	協同購入事業でお申し出が多い案件を「五大案件」とし、「依頼未対応」「荷下ろし(配達)ミス」「お届け遅れ」「運転関連」「注文書預かり忘れ」の5つを指します。

## ■ 語句説明

※定款、規約など詳しくご確認したい方は、「コープおきなわ HP」からご確認いただくか、右記のQRコードをスキャンして下さい。



※定款、規約について「紙で配布をご希望の方」は  
総合推進室(098-879-1144、月～金9:30～17:00)までお問合せ  
下さい。後日、送付させていただきます。

## 沖縄南部市民生活協同組合設立趣意書

とどまることを知らない近年の物価高、そしてこれに拍車をかけるような各種公共料金の大幅値上げ、又健康をむしばむ有害食品のはんらんや、各種の公害は、私たちの日常生活全般を脅かし、ますます不安なものにしています。特に家計のやりくりをしている主婦にとって値上げ攻勢、有害食品、等々には「深いためいき」と「頭を悩ませている」のが現状ではないでしょうか。

このような物価高、有害食品、公害など私たちのくらしと健康をとりまく情勢がきびしい中で、昭和 50 年 6 月 10 日、消費者が自らのくらしと健康を守るために「市民生協を設立しよう」と団地や地域の主婦を中心に、沖縄南部市民生協設立準備会が発足しました。

すでに会員加入よびかけも行なわれ、全国生協組合員の要求、意見の中から開発されたコープ商品の共同購入、酪農家と提携して作り出された純生牛乳の共同飲用などが開始されています。

特に玉城村の酪農家と提携協力で作り出された 100%生乳の共同飲用は、県下でも初めてであり、すでに 800 世帯余の会員(2 月現在)が飲用しています。

生活協同組合は、消費者自身がお金(出資金)を出し合い、これを活動基金として、消費者自身が利用し運営に参加していく、自主的、民主的な組織です。

又全国 1200 余の生活協同組合が、連帯活動を行ない、よりよい商品をより安く――をモットーにコープ商品の開発も進めています。

那覇市民のみなさん

南部地域のすべての消費者のみなさん

現在、消費者のくらしと健康を守るトリデ=「市民生協」は、各団地、地域の主婦、消費者から、大きな期待がよせられています。

1 人がみんなのために、みんなが 1 人のために――この万国生協のスローガンのもとに協同の力で巨大な「市民生協」を、早期に設立しようではありませんか。

以上の主旨をご理解、ご賛同いただき、那覇市民及び南部地域のすべての消費者のみなさんが、沖縄南部市民生協にご加入くださいますよう心からよびかけいたします。



昭和 51 年 2 月  
沖縄南部市民生活協同組合設立発起人会  
発起人代表 会 沢 芽 美

コープおきなわは 1976 年、「沖縄南部市民生活協同組合」として設立されました。1979 年には沖縄電力生協地域部組合員と合流し「沖縄県民生活協同組合」となり、1991 年には、現在の「生活協同組合コープおきなわ」へと名称を変更しています。